

ベトナムグループCJV セミナー開催報告「ベトナムと日本における現在と未来の道路インフラの維持管理」

2015年3月17日、土木学会、ベトナム国家建設大学（NUCE）、東京大学、北海道大学の共催により「ベトナムと日本における現在と未来の道路インフラの維持管理」セミナーが開催されました。日越土木技術者交流促進センター（CJV）のスタッフをはじめ、関係者の多大なる協力のおかげで、セミナーでは大きな成果が得られました。

ベトナム交通運輸省（MOT）、ベトナム建設省（MOC）、他の政府の機関、PMU（ベトナム Project Management Unit）、日本とベトナムの建設会社、土木系大学、また、国際的にもベトナムでも第一人者である道路維持管理の専門家など150名の参加がありました。

セミナーでは、NUCEのPham Duy Hoa 准教授より、日本は交通・運輸インフラ整備において、ベトナムの最も重要なパートナーの一つであることが強調されました。大規模で重要なプロジェクトが日本の支援と協力によって効率的に実施されていますが、近年、NUCEは、日本のパートナーと協力してベトナムに導入する高度な建設技術や情報交換を進めてきました。これまでも日本はベトナムの土木建設、インフラ整備、都市交通といった多くの巨大プロジェクトに携わってきており、このセミナーは、それらに関連するテーマについて日本とベトナムの専門家が知識や経験を交換する場ともなりました。



Pham Duy Hoa 准教授の講演

続いて、北海道大学の横田弘教授から、日本は他の国々と同様にベトナムに向けても、道路維持管理システム分野で経験を共有することができ、たいへん光栄に思っていると挨拶がありました。そして、日本はこれからもSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）を通じてベトナムに注目し、ベトナムと日本の協力が強化されることを期待すると述べました。

東京大学の長井准教授から、今回のセミナーは日本の内閣府の支援をうけた第2回SIP国際セミナー“インフラ・アセット・マネジメント”であるとの紹介がありました。SIPは“Cross-ministerial Strategic Innovation Program”の略であり、本研究プロジェクトは、日本と海外における道路インフラマネジメントサイクルとその適用についての包括的な研究であるとの説明がありました。プロジェクトの期間は、2014年10月から2019年3月までとなっています。

セミナーでは以下の8つのトピックについて講演が行われました。

- (1) Standard specifications for maintenance and repair of concrete structures;
- (2) Deteriorations of road infrastructures in Japan;
- (3) Vietnam Road management;
- (4) Education program for maintenance expert in Gifu;
- (5) Durable repair of concrete structures considering re-deterioration;
- (6) Opportunities for enhancing management and maintenance of road infrastructure in Vietnam;
- (7) Overview of bridge maintenance of NEXCO;
- (8) Standards for inspection maintenance and repair of concrete structures.

セミナーでは講演内容についてより理解を深めるため、講演者と参加者の間で活発な意見交換がなされました。ベトナムの専門家からの質問に、日本の専門家が答えるという場面が多く見られました。今回のセミナー「ベトナムと日本における現在と未来の道路インフラの維持管理」は、成功裏に終わりました。ベトナムにおけるSIPプロジェクトの成功には、道路の点検、管理そして補修の分野で研究や技術移転を促進するための協力ネットワークを作り出すことがまず必要になると思われます。

今回のセミナーでの多くの発表により、このセミナーは日本とベトナムの専門家にとって知見を共有し、ベトナムのインフラ発展に向けた適切な解決策を見つけ出すための研究提案について議論する機会となりました。



講演者の集合写真